
2020 年度 事業報告書

2021 年度 事業計画書



京都市山科区川田御出町 3 番地の 4

第58回 定時総会開催要項

1. 開会

2. 開会挨拶

3. 議事

第1号議案 2020年度事業報告及び決算について承認を求める件

第2号議案 報告事項

(1) 2021年度事業計画

(2) 2021年度収支予算

第3号議案 定款の変更案について承認を求める件

第4号議案 その他

(1) 新会員承認の件

(2) その他協議事項

4. 閉会挨拶

5. 閉会

日 時 2021年6月5日（土） 午後5時開始

場 所 一般社団法人 京都微生物研究所 本社屋2階会議室

京都市山科区川田御出町3番地の4

目 次

2020年度事業報告	2
I 2020年度の業務概況	
1 法律に基づく試験、検査等	3
2 分析試験及び調査研究	7
3 講習会、講演会、研修会の開催	7
4 研究、調査及び技術指導	7
5 行政、各種団体及び研究会への協力	8
6 品質保証体制の強化充実	8
II 事業概要	
1 法律に基づく試験、検査等	9
2 分析試験及び調査研究	28
3 講習会、講演会、研修会の開催	29
III 行政、各種団体及び研究会への協力	
1 行政への協力	30
2 各種団体及び研究会への委員等の派遣	30
IV 品質保証体制の強化充実	
1 ISO15189（臨床検査室認定）	34
2 医療関連サービスマーク	34
3 ISO9001（品質マネジメントシステム）	35
4 ISO27001（情報セキュリティマネジメントシステム）	35
5 水道GLP（水道水質検査優良試験所規範）	35
6 内部監査	35
7 外部精度管理への参加	36
8 教育訓練	37
V 総務・庶務・情報関係	
1 会議	41
2 業務監査等	42
3 施設・設備及びIT関連システムの整備拡充	42
4 組織	47
5 会 員	50
2021年度事業計画	51

2020年度事業報告

I 2020年度の業務概況

2019年12月に中国・武漢で確認された新型コロナウイルス感染症は、年明け後すぐに日本でも確認され、2月以降に感染が拡大し、4月には日本の都市部に更なる拡大の兆候が出た為に、日本政府により緊急事態宣言が発令された。また世界規模でのパンデミックにより、夏に開催予定であった東京オリンピック・パラリンピックの1年の延期も決定された。政治では安倍晋三首相の辞意表明に伴って実施された自由民主党総裁選挙において内閣官房長官の菅義偉氏が第26代総裁に選出され、第99代内閣総理大臣に任命された。アメリカでも大統領選挙が実施され現職である共和党ドナルド・トランプ氏が敗れ、民主党のジョー・バイデン氏が第46代大統領になり、日米のリーダー交代が時代の象徴になった。「新型コロナウイルス感染症拡大の影響」の書き出しがあまりにも多い為、「コロナ禍」と言う言葉が生まれる程、この未曾有の感染症に世界中が支配され、人類の社会・生活様式を変えてしまった1年であった。

当所においては、老朽化した臨床本部ラボと環境分析センターを建て替え統合し、効率化とシナジー効果を実現する「本部ラボ」新築工事を立案し行動に移した。

臨床事業では2年毎の保険点数改正の年ではあったものの、非常事態の中で改正は最小限となった。検体検査自体は感染予防の為に一般外来の受診者が減ったことによる検体数の減少が顕著に表れた。それに反比例して、京都府医師会、京都府及び京都市の指導により、開設・開始した新型コロナウイルスPCR検査の実施数が感染拡大と共に増加の一途を辿り、皮肉にも事業全体の収益の落ち込みを補えるまでに至った。

環境衛生事業はコロナ禍の影響は少なかった為、かねてからの懸案事項であった不採算検査項目の見直しを行い一定の成果をあげた。

健診事業ではコロナ禍の影響で、企業等の集合健診が感染予防の観点から相次いで延期になり、厚生労働省の指針が出る数ヶ月の間、全く実施出来ない状況が続いた。

公衆衛生事業については飲食店等コロナ禍で休業が相次ぎ保菌検査が減少、学校検診の検尿では延期ではなく中止になった事例が少なからず発生した。

コロナ禍の2020年度ではあったが、人材の適所適材配置、インフラの整備及び感染予防教育の周知等、内部体制を整えた。よって当初の事業計画を大幅に変更する事無く、事業運営を継続できた。

1 法律に基づく試験、検査等

(1) 「臨床検査技師等に関する法律」に基づく登録衛生検査所として：

世界的な新型コロナウイルスの感染拡大により、臨床検査の様相が一変した年であった。特にPCR検査は、診断に最も信頼性の高い検査法として認識された。京都市、京都府保健環境研究所、京都府医師会からPCR検査実施協力要請もあり、集合契約検査実施のための検査機関としてPCR検査室を設置し、京都府内検査実施の施設として感染拡大防止の一役を担った。

外部研修会参加や京都府臨床検査技師会の研究班員としての活動は、感染拡大防止の観点から十分に実施することが出来なかったが、それに代わるものとしてWeb研修会が開催され、臨床検査に関する知見を得る機会として活用した。

- ・ 新型コロナウイルス検査

PCR検査室設置後も、第2波・第3波の感染拡大を予測して、測定技術者の育成、PCR装置の増設や前処理装置の導入を行い、より多くの顧客の要望に応えた。

取り扱う検体としては、検査開始当初は「ぬぐい液」のみの対応実施であったが、採取時における医療従事者の感染リスク低減のために「唾液」での検査にも対応した。

また、北部地域においても、ブランチャラボに新型コロナウイルス感染症の検査として、抗原検査、LAMP法およびPCR法を実施可能とし迅速な結果報告を行った。

- ・ 臨床情報室

顧客からの問合せ内容を調査し、臨床医が必要としている情報の選定を行い、「臨床検査ニュース」及び「問合せQ&A」を発行することにより臨床情報の普及に努めた。

- ・ 生化学的及び免疫学的検査

生化学的検査では、ALP、LDにおいて国際標準化に対応した測定試薬を導入し、臨床的意義を向上させた。

免疫学的検査では、輸血検査の自動化を進め、業務の省力化と結果報告時間の短縮を図った。また昨年引き続き、少ない採血量でも検査実施できるよう、必要な血清量の見直しを行い、顧客の要望に応えた。

(2) 「計量法」に基づく環境計量証明事業所として：

- ・ 濃度（水質、大気、土壌）

水質関係の検査は、河川水、工場排水、生活排水（浄化槽排水等）検査の単独依頼のほか、市町村が行う入札物件や、建設業者及びコンサルタン

ト業者からの依頼で行う環境調査、アセスメントなどの総合的な調査のなかで行う水質検査等を実施した。

大気関係の検査は、ボイラー、焼却炉等排ガス検査の単独依頼のほか、各市町村が行う入札物件の総合環境調査の大気及び発生ガス分析を実施した。

産業廃棄物関係の検査は、土壌、底質、産業廃棄物の溶出検査、成分検査の単独依頼のほか、市町村、建設業者、コンサルタント業者からの依頼で行う環境調査、アセスメントなどの総合的な調査のなかで行う溶出検査等を実施した。

- ・ 音圧レベル

音圧レベルの計量証明検査実施数は、2件であった。

- ・ 特定濃度（ダイオキシン類等）

特定濃度（ダイオキシン類等）の実施数（再委託数）は、53件であった。

(3) 「食品衛生法」に基づく食品衛生登録検査機関として：

食品、食品添加物、器具・容器包装等の試験検査の依頼はなかった。

一般食品関係の検査件数は、自主認定検査（かんすい）において、検査実施数は前年度比22.5%減少した。食品衛生検査（微生物学的検査）実施数は、前年度比8.5%減少した。栄養成分及び添加物検査、残留農薬等理化学検査の検査実施数は、前年度比5.1%減少した。食品関連施設の総合衛生管理に関しては、拭き取り検査実施数は、前年度比43.3%減少した。また、衛生管理コンサルタント事業は2020年3月末をもって新規受託を休止し、契約継続中の3事業所に対し実施した。

(4) 「水道法」に基づく水質検査登録機関として：

- ・ 水道事業者依頼の上水道、簡易水道等の水道基準項目、農薬及びクリプトスポリジウム等水質検査を実施した。今年度の依頼件数は、前年度比11.7%減少した。
- ・ 専用水道設置者依頼の水質検査を実施した。今年度の依頼件数は、前年度比13.7%増加した。
- ・ ビル管理法に定められた対象施設の水質検査及び自主水質検査を実施した。京都市内の今年度の依頼件数は、2,307件であり前年度比6.1%減少した。
- ・ ビル管理法（京都市以外）、その他各種水質検査や個人宅の地下水及び井戸水の水質検査を実施した。今年度の依頼件数は、8,054件であり前年度比0.3%減少した。

(5) 「水道法」に基づく簡易専用水道検査登録機関として：

貯水槽水道の施設維持管理検査を京都府、大阪府（枚方市・高槻市）、滋賀県及び奈良県で実施した。実施件数は前年度に比べ、前年度比1.4%減少した。

(6) 「浄化槽法」に基づく浄化槽法定検査指定機関として：

浄化槽法第57条第1項の規定に基づき、京都府内の指定区域における浄化槽施設において水質に関する検査を実施、併せて啓発指導を行う等、環境保全対策に協力した。実施件数は前年度に比べ、7条検査は22件増加、11条検査は19件減少した。

(7) 「作業環境測定法」に基づく作業環境測定登録機関として：

労働者の職場環境を守る観点から、労働者の健康診断とともに作業環境測定の受託業務の市場拡大を図った。

(8) 「労働安全衛生法」に基づく医療機関として：

新型コロナウイルス感染症により緊急事態宣言が発令され、4月から6月までの健診事業については、ほぼ実施できなかった。7月以降は、京都府内事業所の労働者を対象に法定健康診断を開始した。

また、健診事業の一層の充実をはかる事を基本方針として次の事項を重点課題として取り組んだ。

- ・ 協会けんぽ生活習慣病予防健診業務の充実

出張健診は、新規に13件、前年度より4,935人減少の12,040人に実施した。

来所健診は、新規に37件、前年度より127人減少の1,650人に実施した。

- ・ 労働安全衛生法定期健康診断業務の充実

出張健診は、新規に14件、前年度より9,499人減少の19,064人に実施した。

来所健診は、新規に9件、前年度より112人増加の2,613人に実施した。

- ・ 来所健診業務の充実

定期健康診断は、前年度より353人増加の5,411人に実施した。

婦人科マンモグラフィは、前年度より33人減少の233人に実施した。

子宮がんは、前年度より37人減少の266人に実施した。

胃部内視鏡は、前年度より81人減少の490人に実施した。

腹部超音波は、前年度より169人減少の342人に実施した。

- ・ 北部地域の健診業務の充実

新型コロナウイルス感染症の影響により、健診が延期されたが、予定通り丹後、福知山、舞鶴の各労働基準協会の健診を実施した。延期により受診

者数は前年度より9,542人減少した。

- ・ ストレスチェック検査の充実
事業所数76社 8,768人のストレスチェック検査を実施した。前年に比べて6社増加し、333人増加した。
- ・ 保健指導の充実
保健指導員の人員を充実させ、前年度より51人増加の97人に保健指導を実施した。
- ・ ISO9001のマネジメントシステムを運用し品質向上に努めた。
- ・ ISO27001のマネジメントシステムを運用し情報セキュリティ向上に努めた。
- ・ 顧客の満足が得られる健診の体制づくり
顧客アンケート調査を行い、待ち時間の短縮や健診実施日および健診時間を増やし顧客の要望に応えた。
- ・ 健康診断に関わる項目の一層の充実
当所独自の人間ドックを拡大するために、精度の向上と積極的な営業に努めた。

(9) 「高齢者医療確保法」に基づく医療機関として：

保険者の加入者に対する実施計画に基づき、京都府下の自治体の加入者を対象に特定健康診査・特定保健指導を実施した。

地域健康診断を実施した結果は次のとおりである。

- ・ 地区医師会等による地域住民健康管理の集団特定健康診査は新型コロナウイルス感染症の影響により中止となった。
- ・ 京都市個別健康診査及び特定保健指導を実施した。
- ・ 京都市国保ドック健診を40件実施した。
- ・ 後期高齢者ドック健診を15件実施した。

(10) 「学校保健安全法」に基づく健康診断、学童検尿検査として：

- ・ 京都府内の高等学校10校の生徒を対象に総合健康診断を実施した。
- ・ 京都府内の大学6校の学生を対象に総合健康診断を実施した。
- ・ 京都府内市町村教育委員会および私立学校・保育園・幼稚園等の依頼を受け、検尿、検便（ギョウ虫卵）の検査、小・中学生および高校生の心電図検査、貧血検査を実施し、その健康管理に協力した。
- ・ 草津市教育委員会の依頼を受け、小・中学生の心電図検査を実施した。
- ・ 栗東市教育委員会の依頼を受け、小・中学生の心電図検査を実施した。

- ・ 豊岡市教育委員会の依頼を受け、小・中学生の心電図検査を実施した。
- ・ 京都府医師会の依頼を受け、京都市左京区の小・中学生の心電図検査を実施した。
- ・ 検尿検査関係のバーコードシステムが定着し、内部業務の省力化と検査過誤の防止に努めた。また、ラック回収方式により効率化を更に進めた。

(11) 「健康増進法」に基づく各種がん検診等として：

- ・ 集団によるがん検診を実施した。（精華町・京田辺市・舞鶴市）
- ・ 長岡京市・向日市における30歳代の健康診断は新型コロナウイルス感染症の影響により中止となった。
- ・ 京田辺市の住民を対象に骨粗鬆症検診を実施した。

(12) 「労働者災害補償保険法」に基づく労災二次健康診断として：

- ・ 労災二次健診を189人に実施した。

(13) その他 健診における検査業務として：

- ・ 京都府市町村共済組合職員健診の血液検査を実施した。

(14) 「公衆衛生法」に基づく伝染病及び疾病の予防に関する検査及び大量調理施設衛生管理マニュアルに基づく腸管出血性大腸菌検査として：

- ・ 食品取扱者の衛生管理の一環として、健康者の保菌検査等を実施し、衛生管理に協力した。

2 分析試験及び調査研究

本年度も以前からの継続調査を諸機関から受託し、食品及びその関連物質、血液等の検体について、分析試験・調査研究を実施した。

3 講習会、講演会、研修会の開催

顧客満足度の向上を追求する中で、医療機関への講習会等はコロナ禍のため実施できなかったが、Web研修会を活用し新たな知見を得た。また、検査に関する情報等をホームページに掲載し、「Medical News」においても随時、会員に配布した。

4 研究、調査及び技術指導

本年度も各部門において、学会や研究会への発表、投稿を行った。また、分析技術等において企業と検討、改良を実施した。実技経験の浅い臨床検査技師には、技師会、研究班を通じて技術指導を実施した。

5 行政、各種団体及び研究会への協力

本年度も各部門において、所属している団体、委員会等の理事や委員への就任を受託し、その円滑な運営に協力した。

6 品質保証体制の強化充実

品質保証体制の確立は受託検査機関の必須条件となっていることから、企画戦略室を中心に、本年度も体制の強化充実を推進した。

臨床事業の品質保証体制については、ISO15189による品質マネジメントシステムとして外部機関より2020年11月にサーベイランスを受け認定されている。また、2020年度は本部ラボにおいて、医療関連サービスマーク認定の更新審査を11月に受審し更新した。

環境衛生事業の品質保証体制について、2018年3月に認定された水道水質検査優良試験所規範（水道GLP）に関して、引き続き要求事項を遵守し、精度の向上及び検査員へのマネジメントシステムに対する教育訓練を行い要員のシステムへの理解度アップを図った。また食品衛生登録検査機関の製品検査業務管理（GLP）に関し、2021年1月に厚生労働省近畿厚生局より毎年の定期立入指導を受け、更なる精度向上・信頼性確保に努めた。

健診事業の品質保証体制については、ISO9001による品質マネジメントシステムとして外部機関より10月にサーベイランスを受け、規格の要求事項に適合し、かつ有効性が継続的に維持されていることが認められ、認証が更新された。

ISO27001による情報セキュリティマネジメントシステムとしては外部機関より2021年3月にサーベイランスを受ける予定である。

また、健診機関の健診機能を総合的に評価し、優良な施設を認定する「労働衛生サービス機能評価」の取得を目指し、全国労働衛生団体連合会に入会した。

日常実施している検査、分析試験について、精度管理を充実させ、また技能試験等についても多数の職員が参加した。また、研修を充実させて教育訓練に努めるとともに、職員の学会、研究会、講習会への参加を推進した。

Ⅱ 事業概要

1 法律に基づく試験、検査等

(1) 「臨床検査技師等に関する法律」に基づく登録衛生検査所として

*本年度集計方法の変更 それに伴い2019年度の件数も再集計実施。

1) 生化学的検査Ⅰ 血液化学検査 *主な項目を記載

検査項目	前年比 (%)	実施件数	
		2020年度	2019年度
総実施件数	97.8	11,892,932	12,159,273
ALT (GPT)	97.2	657,021	676,247
AST (GOT)	97.2	654,788	673,913
クレアチニン	97.4	639,630	657,115
γ-GT	97.7	607,245	622,055
中性脂肪	97.9	586,812	599,615
尿素窒素 (BUN)	97.3	564,236	580,488
尿酸 (UA)	98.1	558,040	569,107
K	96.7	525,782	543,922
Na	96.6	520,561	539,439
HDL コレステロール	98.4	518,318	527,189
血糖	97.8	512,571	524,292
Cl	96.7	511,859	529,658
総蛋白 (TP)	97.1	505,510	521,078

2) 生化学的検査Ⅱ 腫瘍マーカー *主な項目を記載

検査項目	前年比 (%)	実施件数	
		2020年度	2019年度
総実施件数	96.1	147,318	153,283
CEA	96.0	41,081	42,834
CA19-9	103.7	30,313	29,259
PSA	93.8	28,903	30,821
AFP	91.6	9,172	10,024
CA125	104.3	6,876	6,595
シフラ	87.2	4,789	5,492

SCC	93.8	3,965	4,228
P I V K A - II 定量	90.4	3,941	4,362
高感度 P S A	103.1	2,464	2,392
CA15-3	106.1	2,013	1,899
インターロイキン2受容体	90.8	1,788	1,971
ProGRP (血漿)	93.1	1,005	1,080

3) 生化学的検査Ⅱ 内分泌学的検査 *主な項目を記載

検査項目	前年比 (%)	実施件数	
		2020年度	2019年度
総実施件数	101.8	300,263	294,954
TSH	102.5	56,182	54,835
遊離T4.	103.8	52,215	50,308
遊離T3.	104.1	36,082	34,670
NT-proBNP	104.1	43,893	42,180
BNP	104.3	32,912	31,580
血中E2	97.7	6,719	6,882
FSH	98.6	6,266	6,361
PTHインタクト	95.6	5,090	5,328

4) 免疫学的検査 感染症免疫学的検査 *主な項目を記載

検査項目	前年比 (%)	実施件数	
		2020年度	2019年度
総実施件数	88.0	130,564	148,391
TPHA法定性	94.4	34,714	36,777
RPR定性	94.4	33,897	35,912
HIV-抗原抗体	94.2	10,732	11,396
風疹(HI)	89.0	7,257	8,154
H.ピロリ抗体IgG	90.2	6,293	6,980
HTLV-I抗体	101.6	4,911	4,834
風疹EIAクーポン	148.1	3,082	2,082
風疹HIクーポン	142.2	2,725	1,917
尿H.ピロリ抗体	104.9	2,599	2,478
ASO	95.0	2,500	2,633

5) 免疫学的検査 肝炎ウイルス検査 *主な項目を記載

検査項目	前年比 (%)	実施件数	
		2020年度	2019年度
総実施件数	94.1	117,340	124,743
HCV抗体	95.5	44,747	46,892
HBs抗原(定性)	94.6	46,817	49,521
HBs抗体(半定量)	95.8	5,931	6,194
HBs抗原	84.8	4,072	4,807
HBc抗体	93.1	3,258	3,500

6) 免疫学的検査 血漿蛋白免疫学的検査 *主な項目を記載

検査項目	前年比 (%)	実施件数	
		2020年度	2019年度
総実施件数	94.3	787,665	834,931
CRP定性	96.0	363,975	379,214
CRP定量	95.7	351,020	366,794
β 2-MG精密	103.7	5,204	5,021
IgG	100.6	4,991	4,964
IgM	95.7	3,989	4,172
IgA	95.2	3,727	3,919
IgE(RIST)	78.9	7,431	9,422
View39	104.8	2,562	2,446
スギ	67.7	2,789	4,124
ヤケヒョウヒダニ	69.3	2,595	3,747
ヒノキ	67.3	2,517	3,744

7) 免疫学的検査 自己抗体関連検査 *主な項目を記載

検査項目	前年比 (%)	実施件数	
		2020年度	2019年度
総実施件数	94.5	54,741	57,920
リウマトイド因子	95.8	16,016	16,735
MMP-3	94.3	12,135	12,878
抗核抗体(FA)	96.5	7,399	7,674

抗CCP抗体	99.2	4,334	4,370
抗Tg抗体	110.1	1,461	1,327
TRAb	98.0	1,372	1,401
マイクロゾームテスト	91.9	1,139	1,240
サイロイドテスト	82.0	1,047	1,278
抗TPO抗体	83.1	1,046	1,259

8) 免疫学的検査 免疫血液学的検査 *主な項目を記載

検査項目	前年比(%)	実施件数	
		2020年度	2019年度
総実施件数	98.9	37,146	37,560
A B O式血液型	99.2	14,932	15,055
R h式(D)血液型	99.4	14,900	15,001
間接クームス試験	98.0	4,237	4,324
不規則抗体	98.5	2,823	2,867

9) 尿・糞便等検査 尿中一般物質定性半定量検査 *主な項目を記載

検査項目	前年比(%)	実施件数	
		2020年度	2019年度
総実施件数	97.8	606,853	620,229
尿蛋白定性	94.5	94,954	100,565
尿糖定性	94.5	94,904	100,460
尿潜血	94.9	85,027	89,626
尿ウロビリノゲン定性	98.3	78,266	79,694
尿pH	100.1	69,650	69,582
尿アセトン体定性	101.1	56,819	56,224
尿比重	101.8	51,214	50,352
尿ビリルビン定性	100.7	48,896	48,598
尿白血球	108.0	27,123	25,128

10) 尿・糞便等検査 尿中特殊物質定性定量検査 *主な項目を記載

検査項目	前年比 (%)	実施件数	
		2020年度	2019年度
総実施件数	96.3	33,581	34,854
尿蛋白定量	106.7	16,170	15,157
尿中アルブミン定量	94.2	10,994	11,674
尿糖定量	85.4	3,734	4,377
尿中アルブミン定性	76.6	1,296	1,692

11) 尿・糞便等検査 尿沈渣(鏡検法) *主な項目を記載

検査項目	前年比 (%)	実施件数	
		2020年度	2019年度
総実施件数	94.9	58,386	61,546
尿沈渣染色法	96.7	40,336	41,747
尿沈渣無染色法	91.2	18,050	19,799

12) 尿・糞便等検査 糞便検査 *主な項目を記載

検査項目	前年比 (%)	実施件数	
		2020年度	2019年度
総実施件数	94.3	56,051	59,434
便ヒトHb2回法定量	94.3	18,875	20,016
便ヒトHb2回法定性	104.7	18,642	17,812
便ヒトヘモグロビン定量	88.4	4,808	5,444
便ヒトヘモグロビン定性	87.4	3,255	3,725
便Hb・Tf(定量)	84.5	2,885	3,415
便Hb・Tf定量2回法	92.2	2,578	2,797

13) 血液学的検査 血液形態・機能検査 *主な項目を記載

検査項目	前年比 (%)	実施件数	
		2020年度	2019年度
総実施件数	97.2	4,024,732	4,142,288
赤血球数	97.1	661,006	681,321
血色素量	97.1	661,005	681,369
ヘマトクリット	97.2	652,302	671,670

白血球数	97.1	648,845	668,829
血小板数	96.7	623,583	645,279
血液像	96.7	395,067	408,817
ヘモグロビンA1c	100.3	313,108	312,241
ヘモグロビンA1c (HPLC)	92.5	28,111	30,391
網赤血球数	112.9	16,659	14,758

14) 血液学的検査 出血・凝固検査 *主な項目を記載

検査項目	前年比 (%)	実施件数	
		2020年度	2019年度
総実施件数	100.6	100,600	100,040
プロトロンビン時間	98.2	41,958	42,752
APTT	100.0	24,618	24,642
フィブリノーゲン	97.9	15,168	15,508
D-Dダイマー定量	113.5	13,312	11,738

15) 微生物学的検査

① 検査材料別件数 *主な検査材料 (ふきとり, 保菌は除く)

検査項目	前年比 (%)	実施件数	
		2020年度	2019年度
総実施件数	91.5	70,919	77,514
膣分泌物	95.4	21,971	23,019
尿	106.7	18,565	17,401
喀痰	72.6	5,808	7,995
便	82.9	4,321	5,213
血液	84.3	6,723	7,975
膿	87.7	1,975	2,253
尿・生殖器系	79.6	133	167
その他呼吸器系	71.3	3,243	4,546
その他消化器系	127.2	173	136
その他穿刺液	98.0	1,244	1,269
その他	89.7	6,763	7,540

② 微生物核酸同定・定量検査

検査項目	実施件数	
	2020年度	2019年度
総実施件数	15,376	0
SARS-CoV-2	15,376	0

③ 検査材料別細菌検出率

* 膣分泌物

菌名	検出率 (%)	
	2020年度	2019年度
Candida albicans	19.7	21.2
Str. agalactiae (B群)	16.4	16.6
E. faecalis	13.6	15.6
Escherichia coli	15.2	15.8
Gard. vaginalis	6.5	7.1
St. aureus	5.2	5.7
C. glabrata	2.7	3.1
Streptococcus sp.	2.5	2.4
Kl. pneumoniae	2.1	2.5
St. epidermidis	0.1	0.0

* 尿

菌名	検出率 (%)	
	2020年度	2019年度
Escherichia coli	29.0	31.1
E. faecalis	12.6	12.2
Streptococcus sp.	4.7	4.3
Kl. pneumoniae	5.9	6.0
E. Coli (ESBL 産生菌)	5.6	4.9
Str. agalactiae (B群)	4.4	4.7
Ps. aeruginosa	4.0	3.6
Candida sp.	2.7	2.1
St. aureus (MRSA)	1.6	1.7
Proteus mirabilis	2.5	2.2

* 喀痰

菌名	検出率 (%)	
	2020年度	2019年度
Candida sp.	15.3	17.3
St. aureus (MRSA)	20.0	16.9
Ps. aeruginosa	20.0	12.1
Kl. pneumoniae	9.1	8.9
St. aureus	9.8	9.5
Candida albicans	8.1	6.8
Str. agalactiae (B群)	8.2	6.0
Str. pneumoniae	1.0	1.4
Escherichia coli	3.1	3.7
Moraxella. catarrhalis	1.6	2.3

* 便

菌名	検出率 (%)	
	2020年度	2019年度
Campylobacter jejuni	11.2	11.8
病原大腸菌O-1	0.7	1.2
病原大腸菌O-25	0.0	0.1
St. aureus (MRSA)	0.2	0.4
Salmonella O-4群	0.4	0.6
Salmonella O-7群	0.4	0.4
病原大腸菌O-18	0.0	0.1
病原大腸菌O-6	0.1	0.2
Salmonella O-8群	0.6	0.2
Clostridium perfringens	0.0	0.0

* 血液

菌名	検出率 (%)	
	2020 年度	2019 年度
Escherichia coli	6.4	5.5
Kl. pneumoniae	2.3	2.1
St. aureus (MRSA)	2.2	1.3
St. aureus	1.9	1.4
E. Coli (ESBL 産生菌)	2.7	1.7
Streptococcus sp.	0.7	0.5
Ps. aeruginosa	0.3	0.5
E. faecalis	0.6	0.4
Candida albicans	0.3	0.5
Bacillus cereus	0.6	0.5

* 膿

菌名	検出率 (%)	
	2020 年度	2019 年度
St. aureus	21.2	20.5
St. aureus (MRSA)	8.8	9.0
E. faecalis	4.2	3.8
Streptococcus sp.	5.1	4.9
Escherichia coli	4.4	4.7
Candida albicans	5.6	6.8
Ps. aeruginosa	3.2	3.3
Kl. pneumoniae	3.0	3.2
Str. agalactiae (B 群)	2.3	2.1
C. glabrata	0.6	0.8

16) 病理組織及び細胞診検査

項目	件数
総病理組織検査	61,359
総細胞診検査	63,360
婦人科細胞診	49,321
婦人科以外	14,039
呼吸器	2,125
泌尿器	11,203
体腔液	316
消化器	113
その他	282

17) 細胞診検査内訳

① 婦人科（スメアーテスト）

受付件数	49,321	PC I	PC II	PC III	PC IV	PC V	判定不能・染色のみ
比率（％）		0.74	93.89	5.18	0.06	0.12	0.01

② 婦人科以外（スメアーテスト）

・呼吸器

受付件数	2,125	判定不能	PC I	PC II	PC III	PC IV	PC V
比率（％）		1.08	5.32	90.55	2.16	0.14	0.75

・泌尿器

受付件数	11,203	判定不能	PC I	PC II	PC III	PC IV	PC V
比率（％）		0.00	6.28	87.66	5.19	0.38	0.49

・体腔液

受付件数	316	判定不能	PC I	PC II	PC III	PC IV	PC V
比率（％）		0.00	1.90	61.07	16.46	4.11	16.46

・消化器

受付件数	113	判定不能	PC I	PC II	PC III	PC IV	PC V
比率（％）		10.62	1.77	30.09	38.94	9.73	8.85

・その他（乳腺、甲状腺、リンパ節、他）

受付件数	282	判定不能	PC I	PC II	PC III	PC IV	PC V
比率（％）		1.06	4.96	61.00	17.02	4.26	11.70

備考： 比率（％）＝ クラス別人数／受付件数×100

(2) 「計量法」に基づく環境計量証明事業所として以下の検査を実施した。

1) 濃度（水質、大気、土壌）

- ・水質関係 ……………7,623 件
工場排水（含研究排水）、生活排水（含河川水、池の水）、温泉分析
- ・大気関係 …………… 132 件
排ガス測定（環境大気、悪臭測定、温泉メタンガス等を含む）
- ・産業廃棄物関係 …………… 686 件
溶出、成分試験（含土壌有害物試験）

2) 音圧レベル

- ・工場騒音レベル測定 …………… 2 件

3) 特定濃度（ダイオキシン類等）（再委託数）

- ・焼却炉排ガス …………… 3 件
- ・焼却炉関連飛灰、焼却灰等 …………… 4 件
- ・水質関連 …………… 40 件
- ・土壌、底質 …………… 4 件
- ・環境大気 …………… 0 件
- ・作業環境 …………… 2 件

(3) 「食品衛生法」に基づく食品衛生登録検査機関として以下の検査を実施した。

1) 食品衛生に関する検査を実施し、食品の適正チェックを実施した。

項 目		件 数
自主認定検査	かんすい	371
	タール色素製剤	0
食品衛生検査（微生物学的検査）		2,390
栄養成分及び添加物検査（理化学的検査）		1,062

2) 食品衛生管理検査（拭き取り検査）を実施した。

- 47事業所 …………… 2,131 件

(4) 「水道法」に基づく水質検査登録機関として以下の検査を実施した。

- 1) 京都府をはじめとする近畿一円の水道事業者等が行う水質検査（水道法20条）を登録機関として実施し、また、飲料水水質検査（専用水道、ビル管理法関係、地下水、井戸水等）を実施し、飲料水の適正チェックを実施した。

区 分		項 目	件 数
水道事業体	原 水	51 項目検査セット	416
		その他項目	1,219
	浄 水	51 項目検査セット	478
		その他項目	2,046
専用水道	原 水	51 項目検査セット	52
		その他項目	218
	浄 水	51 項目検査セット	201
		その他項目	935
ビル管理法関係（京都市）		16 項目、11 項目、消毒副生成物 12 項目、その他項目	2,307
その他（ビル管理法関係（京都市以外）・地下水・井戸水等）		16 項目、11 項目、消毒副生成物 12 項目、その他項目	8,054

- 2) 京都市生活衛生課の要請により、食品の調理、製造、加工業者の井水検査について保健所及び食品衛生指導員を通じ、その検査を低料金で実施し、衛生的な水使用の啓発指導に協力した。

保健所名	検査件数
左 京	1
伏 見	71
上 京	2
中 京	0
下 京	0
山 科	8
西 京	0
右 京	2
総 件 数	84

- (5) 「水道法」に基づく簡易専用水道検査登録機関として、京都府、大阪府（枚方市・高槻市）、滋賀県及び奈良県の水道受水槽、高置水槽（貯水槽水道）の維持管理検査（水道法第34条）を実施し、施設の適正チェックを行った。

注) 表中の判定のアは「良好」、イは「おおむね良好」、ウは「要改善」である。

[全体]

内 訳	検査件数	判 定	件 数	%
京 都 市	1,621	ア	1,060	65.4
		イ	557	34.4
		ウ	4	0.2
京 都 府 (京都市を除く)	1,366	ア	876	64.1
		イ	490	35.9
		ウ	0	0.0
他 府 県	560	ア	327	58.4
		イ	233	41.6
		ウ	0	0.0
合 計	3,547	ア	2,263	63.8
		イ	1,280	36.1
		ウ	4	0.1

[受水槽容量（10m³超）]

内 訳	検査件数	判 定	件 数	%
京 都 市	1,454	ア	953	65.5
		イ	497	34.2
		ウ	4	0.3
京 都 府 (京都市を除く)	1,146	ア	746	65.1
		イ	400	34.9
		ウ	0	0.0
他 府 県	523	ア	307	58.7
		イ	216	41.3
		ウ	0	0.0
合 計	3,123	ア	2,006	64.2
		イ	1,113	35.7
		ウ	4	0.1

〔受水槽容量（10m³以下）〕

内 訳	検査件数	判 定	件 数	%
京 都 市	167	ア	107	64.1
		イ	60	35.9
		ウ	0	0.0
京 都 府 (京都市を除く)	220	ア	130	59.1
		イ	90	40.9
		ウ	0	0.0
他 府 県	37	ア	20	54.1
		イ	17	45.9
		ウ	0	0.0
合 計	424	ア	257	60.6
		イ	167	39.4
		ウ	0	0.0

(6) 「浄化槽法」に基づく浄化槽法定検査指定機関として、京都府内（検査担当地区）の浄化槽施設について法定検査（浄化槽の水質に関する検査）を実施し、併せて啓発指導を行う等、環境保全対策に協力した。

内 訳	第7条（設置後等の水質検査）				第11条（定期検査）			
	検査件数	判 定	件 数	%	検査件数	判 定	件 数	%
京 都 市	6	イ	4	66.7	84	イ	40	47.6
		ロ	2	33.3		ロ	44	52.4
		ハ	0	0.0		ハ	0	0.0
京 都 府 (京都市を除く)	59	イ	45	76.3	2,443	イ	1,507	61.7
		ロ	14	23.7		ロ	929	38.0
		ハ	0	0.0		ハ	7	0.3
合 計	65	イ	49	75.4	2,527	イ	1,547	61.2
		ロ	16	24.6		ロ	973	38.5
		ハ	0	0.0		ハ	7	0.3

注) 表中の判定のイは「適正」、ロは「おおむね適正」、ハは「不適正」である。

(7) 作業環境測定法に基づく作業環境測定

作業環境測定登録機関として、京都府及び滋賀県において作業環境測定を123件実施した。

(8) 労働安全衛生法に基づく定期健康診断

[各種健康診断実施数]

実施数(人数)	協会けんぽ生活習慣病予防健診			労安法定期健診	
	出張	来所	胃部X線	出張	来所
本 部	5,770	1,650	2,384	10,940	2,613
北 部	6,270		1,315	8,124	
合 計	12,040	1,650	3,699	19,064	2,613

事業所数	174	297	263	225	189
新規事業所数	13	37	34	14	9

[北部労働基準協会 内訳]

実施数(人数)	協会けんぽ生活習慣病予防健診			労安法定期健診	
	出張	来所	胃部X線	出張	来所
丹後労働基準協会	1,067		249	1,355	
福知山労働基準協会	729		53	838	
舞鶴労働基準協会	2,255		362	2,679	

[特殊健診実施数]

実施数(人数)	有機溶剤	深 夜	腰 痛	特化物	じん肺	V D T	電 離	石 綿	鉛
本 部	689	1,436	1,756	182	42	868	30	29	25
北 部	131	1,759	2,449	80	22	258	0	0	8
合 計	820	3,195	4,205	262	64	1,126	30	29	33

事業所数	42	51	28	20	14	3	5	2	6
新規事業所数	2	1	0	2	0	0	0	0	0

[鉛中毒予防検査実施数]

検 査 項 目	件 数	前年比 (%)
血中鉛	33	91.7
尿中デルタアミノレブリン酸	33	91.7

[有機溶剤中毒予防検査実施数]

代謝物の検査（有機溶剤の種類）	検査項目	件数	前年比（%）
トルエン	尿中馬尿酸	191	62.6
キシレン	尿中メチル馬尿酸	219	121.0
スチレン	尿中マンデル酸	126	134.0
テトラクロロエチレン	尿中トリクロロ酢酸 or 総三塩化物	2	200.0
1,1,1-トリクロロエタン			
トリクロロエチレン			
ノルマルヘキサン	尿中2,5-ヘキサンジオン	139	58.2

[来所健診実施人数推移]

健診名	2020年度	2019年度	2018年度	2017年度	2016年度
来所定期健診	5,411	5,058	4,420	3,927	3,326
婦人科マンモグラフィ	233	266	318	234	203
婦人科子宮がん	266	303	249	241	231
胃部内視鏡	490	571	523	429	214
腹部超音波	342	511	463	381	582

[ストレスチェック検査実施数推移]

ストレスチェック検査	2020年度	2019年度	2018年度	2017年度	2016年度
実施数	8,768	8,435	9,153	7,235	7,009
事業所数	76	70	69	64	59

[保健指導実施数推移]

保健指導	2020年度	2019年度
実施数	97	46

(9) 高齢者医療確保法に基づく特定健康診査・特定保健指導

[地区医師会による集団特定健康診査実施数]

2020年度は新型コロナウイルス感染症の影響により中止

[各自治体による集団特定健康診査実施数]

	血液検査	心電図検査	検尿検査	身長・体重・腹囲
舞鶴市	1,827	1,826	1,814	1,826

[京都市個別特定健康診査・特定保健指導実施数]

* 来所にて実施

	血液検査	心電図検査	検尿検査	身長・体重・腹囲	特定保健指導
京都市国保	40	33	40	40	1
後期高齢者	15	15	15	15	0
京都市国保ドック	40	40	40	40	0
後期高齢者ドック	15	15	15	15	0
被用者	119	21	119	119	0
合計	229	124	229	229	1

(10) 「学校保健安全法」に基づく健康診断、学童検尿検査

[生徒・学生総合健康診断実施数]

	胸部X線	心電図	検尿	内科診察	視力	聴力	耳鼻科	眼科
京都府内高等学校10校	2,284	2,562	5,701	5,667	5,710	3,799	4,935	3,529
京都府内大学6校	4,655	56	4,710	4,710	4,657	56	0	0

	学校数	血液検査	心電図
小学校	33	0	2,286
中学校	19	2,808	755
高等学校	10	1,557	2,741
その他	5	1,424	266
合計	67	5,789	6,048

京都府内市町村教育委員会および私立学校・保育園・幼稚園等の依頼を受け、検尿、検便（ギョウ虫卵）の検査を実施、その健康管理に協力した。

（施設数 991件 検査人数 260,832名）

検査項目	検査件数	異常値数	陽性率（％）
蛋白	291,786	8,746	3.00
糖	291,786	649	0.22
潜血	289,365	5,341	1.85
ウロビリノーゲン	14,593	0	0.00
ギョウ虫卵	1,803	0	0.00

（11）「健康増進法」に基づく各種がん検診等

[集団によるがん検診実施数]

	肺がん	結核	胃がん	大腸がん	前立腺	肝炎	子宮がん	マンモ
精華町	1,832	1,832	1,148	2,247	0	0	0	0
京田辺市	1,732	1,157	1,125	1,608	0	0	0	0
舞鶴市	3,462	3,462	2,257	2,246	1,197	412	0	0

[集団による各種検診実施数]

新型コロナウイルス感染症の影響により縮小・未実施

（市町村名）	骨粗鬆症検診
京田辺市	36
宇治市	0
八幡市	0
合計	36

（市町村名）	30歳代健診
向日市	0
長岡京市	0
合計	0

[各教育委員会定期健康診断]

亀岡市	252
精華町	127
南丹市	120
長岡京市	234
宮津市	116
福知山市	787
京丹後市	202

綾部市	575
伊根町	22
京丹波町	47
京田辺市	0
与謝野町	140
合計	2,622

(12) 「労働者災害補償保険法」に基づく労災二次健康診断

(実施者名)	労災二次健診
丹後労働基準協会	13
福知山労働基準協会	7
舞鶴労働基準協会	156
その他	13
合計	189

(13) その他 健診における検査業務

(実施者名)	血液検査
市町村共済組合	1,430

(14) 「公衆衛生法」に基づく伝染病及び疾病の予防に関する検査

検査項目	検査件数	陽性数	陽性率 (%)
保菌検査	240,880	75	0.03
虫卵	4,415	0	0.00

(15) 大量調理施設衛生管理マニュアルに基づく腸管出血性大腸菌検査

検査項目	検査件数	陽性数	陽性率 (%)
O-157	132,010	1	0.01
O-26		0	0.00
O-111		0	0.00
O-128		0	0.00
ノロウイルスIC	317	2	0.63
ノロウイルスPCR	15,913	62	0.39

2 分析試験及び調査研究

(1) 京都府各市町村及び京都府医師会主催の子宮がん検診の細胞診指定機関として検査を実施、その事業に協力した。

(検体件数 14,525件 スクリーニング クラスⅢ以上 582件)

2020年度 京都府子宮がん検診スクリーニング結果 年齢階級別クラス表

年 齢	受付件数	NILM	PC Ⅲ a	PC Ⅲ b	PC Ⅳ	PC Ⅴ	その他
～29	1,892	1,746	141	5			
30～34	1,232	1,160	60	8	3		1
35～39	1,564	1,489	69	2	4		
40～44	1,673	1,594	71	3	5		
45～49	1,902	1,829	69	2	2		
50～54	1,557	1,487	61	4		1	4
55～59	1,260	1,227	31	1			1
60～64	1,023	1,008	11	1	1		2
65～69	889	878	7	1	2	1	
70～74	935	926	8		1		
75～	598	590	7				1
合 計	14,525	13,934	535	27	18	2	9

(2) 京都府花粉情報システムの花粉観察施設の試料集配及び花粉カウントの依頼を京都府立医科大学耳鼻咽喉科より受け、これに協力した。

観察局：京都府立医科大学

一般社団法人 京都微生物研究所 本部ラボラトリー

一般社団法人 京都微生物研究所 福知山支所

花粉カウント測定数月別内訳

年月	件数	スギ	ヒノキ	マツ	ハンノキ	ブナ	イネ	キク	クワ	その他
2020年3月	74	1,764	2,850	1	6	0	0	0	0	156
2020年4月	74	87	1,932	1,062	7	905	2	0	0	1,093
2020年5月	69	2	35	1,322	3	455	1	0	0	1,219
2020年6月	66	0	0	28	0	0	0	0	0	66
2020年7月	5	0	0	0	0	0	0	0	0	2
2020年8月	4	0	0	0	0	0	0	0	0	1
2020年9月	4	0	0	0	0	0	0	0	0	2
2020年10月	5	0	0	0	0	0	0	0	0	12
2020年11月	4	3	0	1	0	0	0	0	0	0
2020年12月	4	4	0	0	0	0	0	0	0	2
2021年1月	18	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2021年2月	66	2,532	0	0	1	0	0	0	0	20
合 計	393	4,392	4,817	2,414	17	1,360	3	0	0	2,573

(3) 医療機関及び健康食品原材料メーカーから疫学的調査及び研究の一環として、血液中の抗酸化性物質アスタキサンチンの分析試験を実施した。(計174検体)

(4) 京都府の要請により、府内の海水浴場の水質検査を開設前に実施、その調査に協力した。

舞鶴市	神崎浜他	4カ所
宮津市	天橋立他	3カ所
伊根町	泊浜他	2カ所
京丹後市	小天橋他	15カ所

3 講習会、講演会、研修会の開催

(1) 本年度も新規収載項目等を「Medical News」で随時会員に配布した。

- ・日常診療の参考になるリーフレット、時節に即応した検査項目に関してトピックスとして取り上げ検査情報を提供した。また、問合せ内容を分析し、Q&A、臨床検査ニュースを継続し刊行した。

(2) 医療機関への講習会等はコロナ禍のため実施できなかった。

(3) 京都府臨床検査技師会、臨床化学・免疫血清研究班(西垣 圭二、上川 大輔)微生物検査研究班(中川 泰陽)、輸血検査研究班(多胡 聖子)年間活動実績。

年月日	講師	講習会名
2020年4月9日	中川 泰陽	京臨技微生物研究班会議
2020年9月19日	多胡 聖子	新入転入研修会
2020年10月24日	多胡 聖子	輸血検査研修会 (Web 研修会)
2020年12月1日	西垣 圭二 上川 大輔	臨床化学免疫血清研修会 (Web 研修会)
2021年2月13日	多胡 聖子	輸血検査研修会 (Web 研修会)

Ⅲ 行政、各種団体及び研究会への協力

1 行政への協力

- (1) 福知山支所において、過疎地域自立促進特別措置法で認定されている京都府北部のへき地医療を支え、協力した。
- (2) 行政所管の委員会の健全な発展に寄与した。

2 各種団体及び研究会への委員等の派遣

- (1) 各種団体及び研究会への委員等の派遣状況

大藪理事長

(一社) 日本衛生検査所協会	理事
(一社) 日本衛生検査所協会	総務・労務委員会 副委員長
(一社) 日本衛生検査所協会 近畿支部	総務広報委員長
(株) 日本セルネット	取締役
(公財) 京都健康管理研究会中央診療所	評議員

小林専務理事

(一社) 全国給水衛生検査協会	理事
(一社) 全国給水衛生検査協会 近畿支部	支部長
(株) 日本セルネット	取締役

清水理事

(株) 日本セルネット	監査役
-------------	-----

宮本理事

(株) 日本セルネット	取締役
-------------	-----

宮越部長

(一社) 京都府臨床検査技師会	理事
-----------------	----

今井部長

(一社) 全国給水衛生検査協会	20条技術委員
(一社) 全国給水衛生検査協会 近畿支部	20条技術委員
京都府環境計量証明事業協会	理事

中川次長

(一社) 京都府臨床検査技師会	微生物研究班員
(一社) 日本衛生検査所協会 近畿支部	ラボ研小委員会

福田課長

日本カロテノイド懇話会	会計監査
京都府食の安心・安全推進課	食品表示指導者

西垣課長補佐

(一社) 京都府臨床検査技師会	臨床化学・免疫血清研究班員(副班長)
-----------------	--------------------

多胡課長補佐

(一社) 京都府臨床検査技師会	輸血研究班員(会計)
-----------------	------------

中島係長

京都府食の安心・安全推進課	食品表示指導者
---------------	---------

上川主任

(一社) 京都府臨床検査技師会	臨床化学・免疫血清研究班員
-----------------	---------------

(2) 諸会合への参加状況

1) 臨床検査関係

○一般社団法人 日本衛生検査所協会 本部

全国 総務・労務委員会

2020年9月15日	大藪理事長	日衛協東京本部 オンライン会議
2020年11月17日	大藪理事長	日衛協東京本部 オンライン会議
2020年11月26日	大藪理事長	日衛協東京本部 オンライン会議
2021年1月19日	大藪理事長	日衛協東京本部 オンライン会議
2021年2月16日	大藪理事長	日衛協東京本部 オンライン会議

○一般社団法人 日本衛生検査所協会 近畿支部 ・ 地区会議

近畿 幹事会

2020年7月13日	大藪理事長	日衛協大阪会議室 オンライン会議
2020年8月17日	大藪理事長	日衛協大阪会議室 オンライン会議
2020年10月12日	大藪理事長	日衛協大阪会議室 オンライン会議

近畿 営業委員会

2020年7月13日	白須部長	日衛協大阪会議室
------------	------	----------

○一般社団法人 京都府臨床検査技師会
理事会

2020年8月13日	宮越部長	京都保健衛生専門学校 視聴覚室
2020年10月8日	宮越部長	オンライン会議
2020年12月10日	宮越部長	オンライン会議

2) 役員関係

○京都経済同友会例会

2020年7月15日	大藪理事長	オンライン会議
2020年9月16日	大藪理事長	オンライン会議
2020年10月21日	大藪理事長	オンライン会議
2020年11月18日	大藪理事長	オンライン会議
2021年1月20日	大藪理事長	オンライン会議

○(公財) 京都健康管理研究会中央診療所 理事会

2020年3月19日	大藪理事長	ガーデンパレス京都
2020年5月13日	大藪理事長	書面
2020年5月29日	大藪理事長	書面
2020年10月12日	大藪理事長	ホテルモントレ

○(株) 日本セルネット取締役会

2020年11月13日	大藪理事長、他3名	(一社) 京都微生物研究所会議室
-------------	-----------	------------------

3) 環境衛生検査関係

○一般社団法人 全国給水衛生検査協会 総会

2020年6月22日	今井部長	書面
------------	------	----

○一般社団法人 全国給水衛生検査協会 20条技術委員会

2020年7月21日	今井部長	オンライン会議
------------	------	---------

○一般社団法人 全国給水衛生検査協会 研究発表会

2020年11月30日	小林専務理事、他2名	(飲料水検査関連)東京 大田区産業プラザ
-------------	------------	----------------------

○一般社団法人 全国給水衛生検査協会 近畿支部総会

2020年6月15日	小林専務理事、他5名	書面
------------	------------	----

○一般社団法人 食品衛生登録検査機関協会 研修会

2021年2月18日	清水理事、今井部長	Web研修
------------	-----------	-------

○京都府環境計量証明事業協会 理事会

2020年5月13日	今井部長	オンライン会議
------------	------	---------

○京都府環境計量証明事業協会 共同実験討論会

2021年2月18日	今井部長、他4名	オンライン会議
------------	----------	---------

4) 総務関係

○会社説明会

2020年6月20日	山本課長、他	本部2F大会議室
2020年6月27日	山本課長、他	本部2F大会議室
2020年7月6日	宮越部長、他2名	京都保健衛生専門学校
2020年7月27日	山本課長、西垣課長補佐	大阪滋慶学園新大阪キャンパス
2021年2月25日	中川次長、他2名	大阪医療技術学園専門学校

○山科美化推進企業協議会 役員会

2020年3月27日	金澤主任	書面
2020年4月8日	金澤主任	書面
2020年8月31日	金澤主任	書面
2020年12月21日	金澤主任	書面

○山科美化推進企業協議会 総会

2021年1月29日	今井部長、金澤主任	書面
------------	-----------	----

IV 品質保証体制の強化充実

1 ISO15189（臨床検査室認定）

2020年11月5・6日にサーベイランスを受審

認定番号：RML00110

認定事業所：一般社団法人 京都微生物研究所

認定区分：一般検査、血液学的検査、生化学的検査Ⅰ、Ⅱ、免疫学的検査、微生物学的検査

登録日：2006年3月29日

最新再交付：2019年8月26日（有効期限：2022年3月31日）

登録認定機関：公益財団法人 日本適合性認定協会

2 医療関連サービスマーク

（本部）

医療関連サービスマーク衛生検査所業務に関する認定審査を2020年11月26日に受審

認定番号：E（14）-2102260170

認定事業所：一般社団法人 京都微生物研究所

認定区分：血液学的検査、生化学的検査、血清学的検査、微生物学的検査、寄生虫学的検査、病理学的検査

交付日：2021年2月1日（有効期限：2023年1月31日）

認定機関：一般財団法人 医療関連サービス振興会

（福知山支所）

医療関連サービスマーク衛生検査所業務に関する認定審査を2019年7月18日に受審

認定番号：E（13）-1910260171

認定事業所：一般社団法人 京都微生物研究所 福知山支所

認定区分：血液学的検査、生化学的検査、血清学的検査、微生物学的検査、寄生虫学的検査

交付日：2019年10月1日（有効期限：2021年9月30日）

認定機関：一般財団法人 医療関連サービス振興会

※2020年度認定審査なし

3 ISO9001 (品質マネジメントシステム)

健診業務の品質保証体制の維持向上のために2005年2月に認証取得し、今年度は2020年10月28日にサーベイランスを受審

登録番号：C2018-04631

登録事業所：一般社団法人 京都微生物研究所 健診事業部

登録区分：職域健診・学校検診等の健康診断業務

登録日：2007年2月18日

最新再交付：2019年2月18日（有効期限：2022年2月17日）

登録認定機関：ペリジョンソホールディング株式会社ペリジョンソレジストラ

4 ISO27001 (情報セキュリティマネジメントシステム)

健診業務の情報セキュリティの確保のために2016年4月に認証取得し、今年度は2021年3月30日にサーベイランスを受審予定

登録番号：C2019-00762-R1

登録事業所：一般社団法人 京都微生物研究所 健診事業部

登録区分：職域健診・学校検診等の健康診断業務

登録日：2019年4月26日（有効期限：2022年4月25日）

登録認定機関：ペリジョンソホールディング株式会社ペリジョンソレジストラ

5 水道GLP (水道水質検査優良試験所規範)

水道水質検査業務の品質保証体制の維持向上のために2018年3月に認証取得し、2020年2月21日にサーベイランスを受審

認定番号：JWWA-GLP136

認定事業所：一般社団法人 京都微生物研究所

認定区分：水道水質基準51項目（水道水・浄水、原水）

登録日：2018年3月20日（有効期限：2022年3月19日）

登録認定機関：公益社団法人 日本水道協会

※2020年度サーベイランスなし

6 内部監査

品質システムの有効性を確認するために、年間計画に基づく内部監査を各業務における認定、認証基準に沿って以下のとおり実施した。

- ・ISO15189 2020年7月、8月
- ・ISO9001 2020年12月、2021年1月
- ・ISO27001 2021年1月
- ・食品GLP 2021年2月
- ・水道GLP 2021年2月
- ・福知山支所 2020年9月

7 外部精度管理への参加

(1) 臨床検査関係

検査精度向上のため、各コントロールサーベイに参加し、技術向上を図る。

2020年度 外部精度管理参加一覧

実施年月	主催者名	サーベイ名称
2020年4月	積水メディカル株式会社	コアプレスタコントロールサーベイ
2020年5月	極東製薬株式会社	メディエースRPRコントロールサーベイ
2020年5月	富士レビオ株式会社	ルミパルスコントロールサーベイ
2020年5月	積水メディカル株式会社	コレステストコントロールサーベイ
2020年6月	(一社)日本臨床衛生検査技師会	2020年度日臨技臨床検査精度管理調査
2020年8月	バイオ・ラッドラボラトリーズ株式会社	イムノアッセイTMJコントロールサーベイ
2020年8月	日水製薬株式会社	L-スイトロールサーベイ
2020年9月	(公社)日本医師会	令和2年度(第54回)臨床検査精度管理調査
2020年10月	(公社)全国労働衛生団体連合会	令和2年度臨床検査精度管理調査
2020年10月	(一社)京都府臨床検査技師会	第36回京都府臨床検査精度管理調査
2020年11月	(一社)日本衛生検査所協会	令和2年度(第46回)日衛協臨床検査精度管理調査
2020年11月	富士フイルム和光純薬株式会社	WAKOコントロールサーベイ
2020年12月	(一社)京都府医師会	令和2年度(第39回)臨床検査精度管理

(2) 環境衛生関係

2020年度 外部精度管理参加一覧

実施年月	主催者名	精度管理項目
2020年6月	厚生労働省	水質(六価クロム化合物、フェノール類)
2020年6月	(一財)食品薬品安全センター	E.Coli:加熱食肉製品(加熱殺菌後包装)
2020年6月	(一社)日本環境測定分析協会	水質(アルミニウム、全クロム、亜鉛、鉛)
2020年6月	(一財)食品薬品安全センター	食品農薬(クロルピリホス、プロチオホス)
2020年7月	(一財)食品薬品安全センター	一般細菌数:氷菓(ゼラチン基材)
2020年7月	(一財)食品薬品安全センター	添加物(シロップ中ソルビン酸)
2020年7月	(一社)日本環境測定分析協会	水質(COD(Mn))
2020年7月	環境省	水質(COD(Mn))、全窒素、亜硝酸性窒素、硝酸性窒素
2020年9月	京都府環境計量証明事業協会	水質(アンモニウムイオン)
2020年10月	(一社)日本環境測定分析協会	水質(全窒素、全リン)

2020年10月	(一財)食品薬品安全センター	黄色ブドウ球菌:加熱食肉製品 (加熱殺菌後包装)
2020年10月	(一社)全国給水衛生検査協会	水質(塩素酸、鉄)
2020年10月	(一財)食品薬品安全センター	サルモネラ属菌:食鳥卵(殺菌液卵)
2020年11月	(一社)日本環境測定分析協会	土壌(六価クロム、ひ素、カドミウム、鉛)
2020年11月	(一財)食品薬品安全センター	大腸菌群:加熱食肉製品(包装後加熱殺菌)
2020年12月	(一社)全国給水衛生検査協会	簡易専用水道検査外部精度管理調査
2021年2月	(一社)日本環境測定分析協会	水質(フッ化物イオン、塩化物イオン、 硫酸イオン、硝酸イオン)

(3) 健診関係

2020年度 外部精度管理参加一覧

実施年月	主催者名	精度管理項目
2020年6月	(公社)全国労働衛生団体連合会	胸部 X 線検査分野
2020年12月	(公社)全国労働衛生団体連合会	胃部 X 線検査分野
2021年2月	(公社)全国労働衛生団体連合会	臨床検査精度管理(尿・生化学・血液一般)

8 教育訓練

(1) 内部研修

○ 事業部門(臨床関係) (当所本社屋2階会議室にて)

実施年月	テーマ	主催
2020年8月	検査オーダーリングシステムについての基礎知識	情報システム部
2020年8月	感染予防、新型コロナウイルスについての基礎知識、及び臨床情報室Q&A第58号	臨床情報室
2020年9月	臨床情報室Q&A第59号 年齢、性別や運動の影響を受ける検査項目	臨床情報室
2020年10月	臨床情報室Q&A第60号 キノコ類についてのIgE抗体、アジソン病における検査所見、他	臨床情報室
2020年10月	コンピュータウイルスへの対応	臨床事業部
2020年11月	臨床情報室Q&A第61号 多発性筋炎・皮膚筋炎を疑う場合の検査、ピーナッツの特異的IgE、他	臨床情報室
2020年12月	T-SPO T・TBについて	オックスフォード・イムノテック株式会社
2020年12月	臨床情報室Q&A第62号 伝染性単核症(IM)、尿の色調について、他	臨床情報室
2021年2月	ISO15189について	臨床事業部

○ 事業部門（環境衛生関係）（当所分析センター4階にて）

実施年月	テ ー マ	主 催
2020年4月	新人研修（環境概論、安全教育、受付／受入について、採取、基礎実習）	環境分析部
2020年4月	新人研修（環境事業課（営業）業務について、簡易専用水道、浄化槽）	環境分析部
2020年4～5月	新人研修（飲料水当日検査）	環境分析部
2020年4～6月	環境事業課（営業）業務 一般教育	環境分析部
2020年4～6月	受付担当者教育、一般測定担当者教育、採取担当者教育	環境分析部
2020年4～6月	LAS、農薬類検査ルーチン業務	環境分析部
2020年4～7月	細菌検査ルーチン業務	環境分析部
2020年4～8月	計量証明検査ルーチン業務	環境分析部
2020年5月	飲料水検査ルーチン業務	環境分析部
2020年5～9月	細菌検査ルーチン業務	環境分析部
2020年6月	新人研修（受入審査について）	環境分析部
2020年8～12月	LAS、農薬類検査ルーチン業務	環境分析部
2020年9～10月	計量証明検査ルーチン業務	環境分析部
2020年9～11月	飲料水検査ルーチン業務	環境分析部
2020年9 ～2021年2月	環境事業課（営業）業務 一般教育	環境分析部
2020年10月	情報セキュリティ対策講習	環境分析部
2020年11 ～2021年2月	水道GLPシステム勉強会	環境分析部
2021年1月	飲料水検査ルーチン業務	環境分析部
2021年2月	飲料水検査ルーチン業務	環境分析部

○ 事業部門（健診関係）（当所本社屋2階会議室にて）

実施年月	テ	ー	マ	主	催
2020年5月	新型コロナウイルス感染防止講習会			健診事業課	
2020年5月	特殊健診勉強会			健診業務課	
2020年5月	高血圧勉強会			健診業務課	
2020年10月	インフルエンザ勉強会			健診業務課	
2020年12月	T-SPOT勉強会			健診業務課	
2021年2月	特殊健診改正勉強会			健診業務課	

○ 総務・情報システム部門（当所本社屋2階会議室にて）

実施年月	テ	ー	マ	主	催
2020年11月	情報セキュリティ勉強会			情報システム部	

(2) 学会、外部研修会等参加状況

○ 臨床検査部門

実施年月	テ	ー	マ	主	催
2020年3月	新型コロナウイルス感染症における臨床検査に係る対応			臨床微生物学会	
2020年6月	新型コロナウイルス検査実地研修会			京都府臨床検査技師会	
2020年6月	京臨技遺伝子検査研修会(Web研修会)			京都府臨床検査技師会	
2020年7月	新型コロナウイルス検査実地研修会			京都府臨床検査技師会	
2020年9月	ISO15189:2012 内部監査員養成セミナー			アボットジャパン合同会社	
2020年10月	血液形態・目視検鏡のヒント			シスメックス株式会社	
2020年10月	輸血検査研修会(Web研修会)			京都府臨床検査技師会	
2020年11月	血液Web研修会			京都府臨床検査技師会	
2020年12月	第24回感染症セミナー			臨床微生物学会	
2021年2月	SARS CoV-2 IgG抗体定量測定の意義			アボットジャパン合同会社	

○ 環境衛生部門

実施年月	テ	ー	マ	主	催
2020年4月	水道水質・環境分析セミナー2020			アジレント・テクノロジー株式会社、富士フイルム和光純薬株式会社	
2020年5月	水道水中PFOS/PFOA分析法			日本ウォーターズ株式会社	
2020年5月	第1回 浄化槽ブロック協議会			(一社)全国浄化槽団体連合会 近畿地区協議会	

2020年7月	関西地区輸入食品登録検査機関懇談会	関西地区輸入食品登録検査機関懇談会
2020年8月	第2回 浄化槽ブロック協議会	(一社) 全国浄化槽団体連合会 近畿地区協議会
2020年9月	放射線取扱主任者定期講習	電子科学研究所
2020年11月	全国飲料水検査研究発表会	(一社) 全国給水衛生検査協会
2020年12月	第1回オートアナライザー Web セミナー	ビーエルテック株式会社
2021年2月	2020年度 京都府環境計量証明事業協会 共同実験 総合討論会 (Web 参加)	京都府環境計量証明事業協会

○ 健診関係

実施年月	テ	ー	マ	主	催
2020年10月	新型	コロナ	PCR検査基礎研修会	日本臨床検査技師会	
2020年12月	第45回	日本	超音波検査学会	日本超音波検査学会	

○ 企画戦略室関係

実施年月	テ	ー	マ	主	催
2020年10月	内部	監査員	養成セミナー (大阪)	シスメックス株式会社	

○ 総務・庶務・情報システム関係

実施年月	テ	ー	マ	主	催
2020年7月	「DX Suite」	セミナー		AI inside 株式会社	
2020年9月	ISO15189:2012	内部	監査員養成セミナー	アボットジャパン合同会社	
2020年11月	Sky Technology Fair 2020	Virtual		S k y 株式会社	
2021年2月	desknet's NEO AppSuite	セミナー		株式会社ネオジャパン	

V 総務・庶務・情報関係

1 会議

(1) 定時総会

第57回定時総会 2020年6月6日（於 本社屋 2階会議室）

第1号議案 2019年度事業報告及び決算の承認を求める件

第2号議案 報告事項

(1) 2020年度事業計画

(2) 2020年度収支予算

第3号議案 各種規程の変更案について承認を求める件

(1) 役員規則

(2) 役員の報酬等及び費用に関する規程

第4号議案 役員人事の件

任期满了に伴う役員改選について

第5号議案 その他

(1) 新会員承認の件

(2) その他協議事項

上記、各議案は慎重協議の上、可決承認された。

(2) 定例理事会

1) 予算理事会 2020年3月12日（書面による決議の省略）

第1号議案 2020年度事業計画案について承認を求める件

第2号議案 2020年度予算案について承認を求める件

上記、各議案は慎重協議の上、可決承認された。

2) 決算理事会 2020年5月21日（書面による決議の省略）

第1号議案 2019年度事業報告及び決算報告、公益目的支出計画
実施報告の承認

第2号議案 定時総会の招集の決定

第3号議案 各種規程の変更案について承認を求める件

第4号議案 役員人事の件

第5号議案 その他協議事項

上記、各議案は慎重協議の上、可決承認された。

※新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第96条及び定款第42条に基づき書面による決議の省略に変更した。

(3) 常勤理事会 開催12回

(4) 各種内部会議として、管理者会議(12回)、臨床品質システム(QMS)委員会(12回)、健診品質システム(QMS)委員会(12回)、安全衛生委員会(12回)、情報保護管理委員会(12回)を開催した。

2 業務監査等

- (1) 「臨床検査技師等に関する法律」に基づく登録衛生検査所に係る立入検査
・福知山支所 2021年2月8日 京都府中丹西保健所
- (2) 京都市上下水道局技術監理室水質管理センター水質第1課の仕様書に基づく立入監査
・2020年11月24日 京都市上下水道局技術監理室水質管理センター水質第1課
- (3) 食品衛生法に基づく登録検査機関の登録に係る立入監査
・2021年1月7日 厚生労働省近畿厚生局

3 施設・設備及びIT関連システムの整備拡充

- (1) 設備関連
臨床検査関係

設置年月	機器名称・台数	設置場所
2020年3月	全自動リアルタイムPCR測定装置1台 冷却遠心機1台 バイオハザード対策用キャビネット1台 クリーンベンチ1台 超低温フリーザー1台 薬用保冷庫1台 理化学用高圧蒸気滅菌器1台	PCR検査室
2020年3月	尿化学分析装置1台	本部ランチラボ
2020年5月	PCR前処理用サンプリング装置1台	PCR検査室
2020年5月	生化学自動分析装置1台	豊岡支所
2020年6月	遠心機1台	PCR検査室
2020年7月	全自動血液分析装置1台	本部ランチラボ
2020年7月	免疫血液学用遠心機1台	本部ラボ
2020年8月	自動凝固測定装置1台	福知山支所
2020年8月	自動凝固測定装置1台	北部ランチラボ
2020年8月	遠心機1台 冷却遠心機1台	PCR検査室
2020年9月	生化学自動分析装置1台	北部ランチラボ

2020年10月	全自動リアルタイム PCR 測定装置 1 台	PCR 検査室
2020年10月	血液ガス分析装置 1 台	本部ブランチラボ
2020年11月	自動凝固測定装置 2 台	本部ブランチラボ
2021年1月	バイオハザード対策用キャビネット 1 台	本部ブランチラボ
2021年1月	免疫学的便潜血自動分析装置 1 台	本部ラボ
2021年2月	システム顕微鏡 2 台 全自動リアルタイム PCR 測定装置 1 台	本部ラボ
2021年2月	免疫学的便潜血自動分析装置 1 台	北部ラボ

(2) IT 関連の整備

その他

設備名等	設置場所
EMR (電子カルテ) 連携到着確認システム新規設置	クリニック 7 施設
オーダリングシステム新規設置	クリニック 1 施設
臨床検査装置システム連携	ブランチラボ 2 施設
ネットワーク機器更新	福知山支所
検査サーバー更新	福知山支所
健診システム更新	本部ラボ

(3) 主要機器保有状況

1) 臨床検査関係

No.	種 別	台 数
1	全自動免疫分析装置	8
2	生化学自動分析装置	22
3	免疫学的便潜血自動分析装置	2
4	全自動血糖測定装置	4
5	AUTO DILUTER	1
6	ホルター心電図解析機	1
7	電気泳動装置 (半自動)	1
8	全自動血液分析装置	22
9	分光光度計	2
10	全自動輸血検査装置	3
11	全自動リアルタイム PCR 測定装置	5
12	ビリルビン測定装置	2

13	安全キャビネット	4
14	検体前処理装置	2
15	血液ガス分析装置	13
16	尿定性分析装置（半自動）	9
17	自動凝固測定装置	12
18	自動試薬調整装置	3
19	全自動血液標本作成装置	4
20	尿中有形成分分析装置	2
21	全自動赤血球沈降測定装置	2
22	骨塩定量解析装置	2
23	デジタル臨床屈折計	1
24	全自動蛋白分画分析装置	2
25	全自動分注装置	2
26	全自動チップ整列機	1
27	リアルタイム蛍光モニター	2
28	上皿電子分析天秤	1
29	電子天秤	1
30	ヘモグロビンA1c分析装置	9
31	全自動血液培養検査装置	1
32	自動細菌同定感受性装置	1
33	自動感受性薬剤プレート分注機	2
34	自動 MIC プレート分析装置	1
35	自動検尿装置	6
36	蛋白質分析装置	1

2) 環境衛生関係

No.	種 別	台 数
1	I C P - M S	1
2	I C P 発光分光分析装置	1
3	イオンクロマトグラフ	2
4	オートアナライザー	1
5	ガスクロマトグラフ	4
6	高分解能ガスクロマトグラフ質量分析計	2
7	ガスクロマトグラフ質量分析計	6
8	高速液体クロマトグラフ	4
9	ポストカラム - イオンクロマトグラフ	2
10	高速液体クロマトグラフ質量分析計 (L C - M S)	2
11	分光光度計	1
12	p H 計	4
13	電子天秤	7
14	原子吸光光度計	1
15	水銀分析装置	1
16	T O C 計	2

3) 健診検査関係

No.	種 別	台 数
1	胸部X線デジタル検診車	2
2	胃部X線デジタル検診車	2
3	診療所設置 胸部X線撮影装置	1
4	診療所設置 胃部X線撮影装置	1
5	診療所設置 マンモグラフィ装置	1
6	診療所設置 放射線画像処理装置	1
7	全自動身長体重計	8
8	デジタル身長体重計	2
9	自動尿検査装置	5
10	視力計	9
11	V D T 近点計	2
12	自動血圧計	7
13	解析付心電計	13
14	聴力計 オーディオメーター	7
15	肺機能 スパイロメーター	1
16	眼圧計	1
17	眼底カメラ	2
18	超音波装置 (エコー)	3
19	内視鏡カメラシステム (スコープ3台経鼻用)	1
20	遠隔画像読影システム一式	1
21	超音波骨密度装置	1

4 組織

7月11日、8月11日及び10月11日付けで、責任体制の明確化及び業務効率化のため、人事異動を実施した。

- 1) 組織図（別紙1）
- 2) 資格者一覧

(2021年3月31日現在)

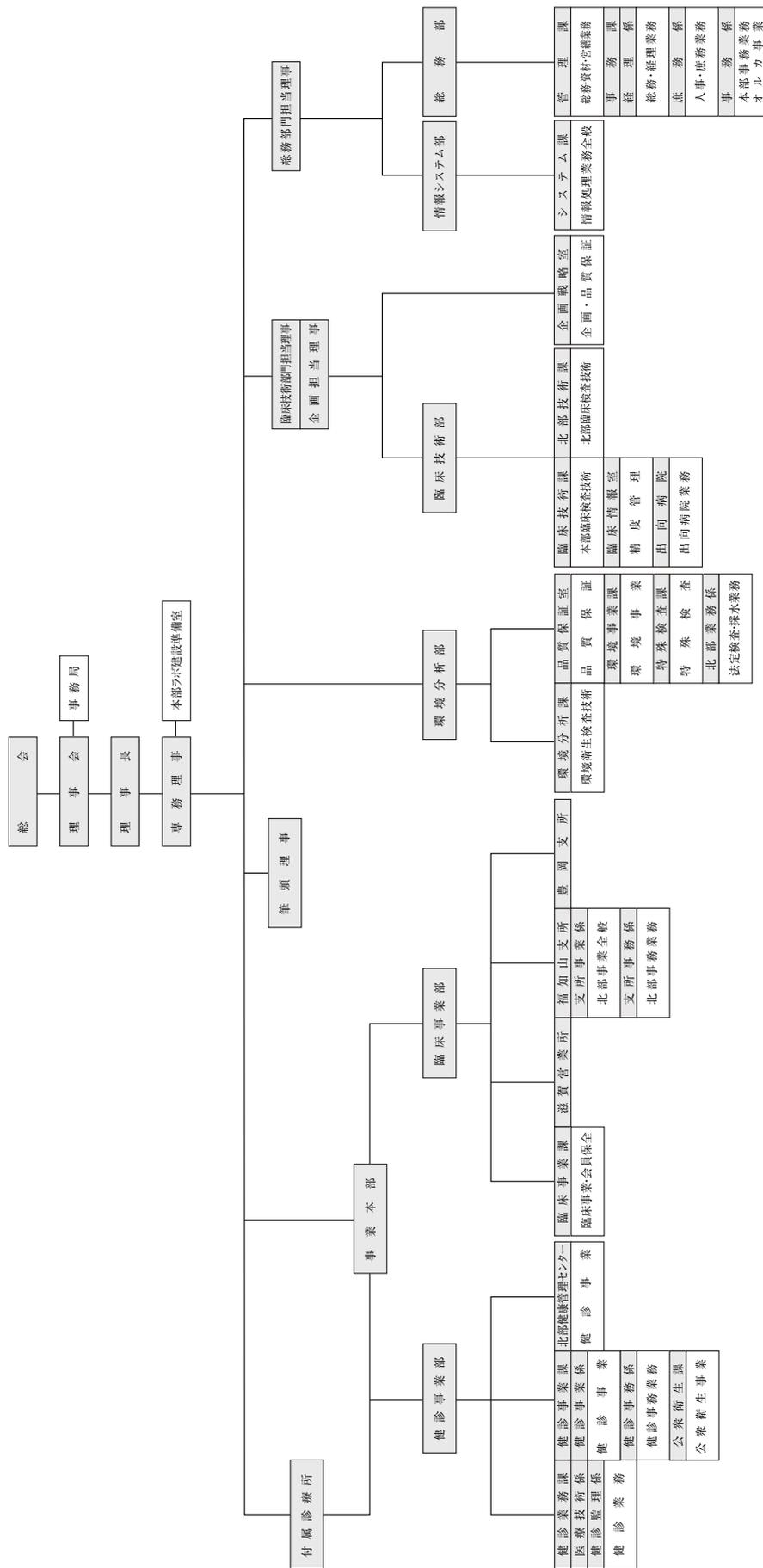
資格名称	人数	資格名称	人数
医師	3	簡易専用水道検査員	11
看護師	2	臭気判定士	2
薬剤師	1	水質1種公害防止管理者	3
診療放射線技師	5	ダイオキシン類公害防止管理者	6
臨床検査技師	66	土壤汚染調査技術管理者	1
衛生検査技師	2	水道技術管理者	1
臨床工学技士	1	危険物取扱者	3
緊急臨床検査士	1	日本糖尿病療養指導士	1
認定輸血検査技師	1	管理栄養士	3
二級臨床検査士 血液学	3	栄養士	4
二級臨床検査士 臨床化学	1	第一種衛生管理者	17
一般検査士	6	毒物劇物取扱管理者	3
RI二種	1	医療情報技師	1
環境計量士	6	情報処理技術者	5
第一種作業環境測定士	2	日医 IT システム主任者	5
第二種作業環境測定士	2	日医 IT インストラクター	6
浄化槽検査員	9		

3) 一般社団法人 京都微生物研究所 役員名簿

(2021年3月31日現在)

役職名	氏名	所属
理事長	大藪 正樹	一般社団法人 京都微生物研究所
専務理事	小林 敦司	一般社団法人 京都微生物研究所
理事	奥村 勲	一般社団法人 京都微生物研究所
理事	清水 圭子	一般社団法人 京都微生物研究所
理事	宮本 昌信	一般社団法人 京都微生物研究所
理事	津田 治巳	一般社団法人 京都微生物研究所 付属診療所 所長
理事	中村 政弥	中村医院 院長
理事	人見 洋一	人見医院 院長
理事	岩田 征良	岩田医院 院長
監事	辻 貞旨	公認会計士 辻貞旨事務所

一般社団法人京都微生物研究所組織図



5 会 員

(1) 会員の異動状況報告

会員数は2020年4月1日時点で501名であった。会員の加入促進を図ったが、この期間は4名の入会者に対し、退会者は18名であった。従って2021年3月31日現在の会員数は487名となった。

2020年4月1日～2021年3月31日

入会者	4名	(新規開業等	2名)
退会者	18名	(閉院等	16名)
物 故	6名		

(2) 環境衛生関係会員数

- | | |
|--------|------|
| 1) 会員数 | 186件 |
| 2) 市町村 | 33件 |

2021年度事業計画書

自 2021年4月 1日

至 2022年3月31日

一般社団法人京都微生物研究所は、地域社会における公衆衛生の向上及び地球環境保全等に寄与するため、保健衛生及び環境衛生に関する試験検査、調査研究を実施し、もって地域住民の健康増進及び福祉の向上、更には地域の環境保全に貢献することを目的として事業を展開している。

近年では京都府のみならず滋賀県、兵庫県においても臨床検査事業・環境衛生事業・健康診断事業・公衆衛生事業の市場拡大を図ってきた。

以下に2021年度の事業計画の基本方針を示す。

1 臨床検査事業

臨床業界全体に吸収合併や医療コンサルタントが参入し、既存顧客・新規顧客問わず低価格競争が蔓延し混沌としている状況が続いており、当所のラボ・営業所の拠点である京都府・滋賀県・兵庫県北部においても同様である。

2021年度は全世界に蔓延しているコロナ禍の状況下においてもぶれる事無く、会員の満足度及び検査精度の向上を最優先とし、既存顧客に留まらず新規顧客についても迅速且つ機動力を活かし、積極的に営業活動を行う。また、事業部・技術部両部門で毎月開催している販売促進会議を更に充実させ、事業発展に努める。

2022年度初頭の新ラボ本稼働に向け、効率的且つ経済性を担保したオートメーション化の実現を図り、内部項目の見直し及び最新の分析装置を導入し、更なる迅速性と精度の向上に努める。また、依頼オーダーリングシステムについても普及を行い、顧客が簡便に検査を出検できるようにし、依頼時点からの効率化を図る。

前述の全世界に大きな影響を及ぼしている新型コロナウイルス対策については、ワクチン接種の広がりと共に、PCR検査を主とした関連検査等、需要の多様化が予想されるが、検査機関として状況に応じ柔軟に対応していく。また、早期発見・クラスター防止に役立つよう当該施設への協力・提案を進めていく。検査体制としては、福知山支所においてもPCR検査の早期実施に向け設備・機器を設置し、北部地域医療にも貢献する。更には介護・老健施設等へ耐性菌や感染症予防等に関して、出張型研修会を提案し、営業活動に努める。

2 環境衛生事業

2021年度の事業計画として、事業戦略の一つである“発展的縮小による安定した収益性”を主軸に、業務改善と利益率向上に対する最終ステップへの土台（強固な組織・確かな技術力・顧客満足度向上）づくりを推し進める。業務改善については、環境衛生部門の既存システムを、外部システムの導入により一新、2021年度半ばには本稼働の予定である。種々の検査に関わる付帯業務をデジタル化し、検査員の日常業務の効率化を図る。本年度も引き続き本事業は、飲料水の水質検査を中心に据えた事業運営を行い、安定的利益を確保するものとする。そのために水道水質検査受託市町村数の増加並びに、積極的に同業他社とのアライアンスに取り組み、農薬をはじめとする他社が苦手とする管理目標検査受託件数の増加に努める。また、簡易専用水道検査においても昨年度に引き続き、滋賀県を中心に現場検査依頼件数が増加する傾向がみられるため、同地域において機動力を活かした効率の良い検査体制を構築し、水質検査同様、外部システムの導入により更なるデジタル化を図り、業務改善と利益率向上に努める。

3 健康診断事業

来所健診においては、受注予約営業の専門担当を設け予約枠とコース内容の管理、リピーターの確保等、来所健診事業の組織体制強化により売上・収益の倍増を目指す。また顧客サービスに応じたシステムの導入を進め、顧客満足度向上を図る。更には保健指導、栄養指導等、また二次精密検査医療機関との連携を深め受診者の満足度を高める。労働衛生サービス機能評価取得を目指し、婦人科健診、胃部内視鏡検査及び労災二次健診もより一層の充実と精度向上を図り、安心と受診者数の増加を目指す。

巡回による事業所健診では、ネットワーク健診の充実が大きな収益増に繋がると考え、受注元との契約増を図る。また、特殊健診の積極的受注により他の医療機関との差別化を図る。既存の得意先に対し、受診率の向上と胃部エックス線検査の受診増を図り、より効率的な健診事業を目指す。

学校健診においては、教職員の定期健診、学生・生徒の総合健診を中心に市場の拡大を図る。

住民健診においては、体制の強化を図り、精度を向上させ、実施の拡大を図る。

健診事業全体においては、昨年導入した自動封入機の稼働強化や新たな顧客サービスに繋がるシステム導入を検討し、成績書発行業務の効率化及び精度を向上させ、迅速且つ精度が保証された健診結果を提供できる健診機関として更に飛躍する。

2020年度の新型コロナ禍では、地域社会への貢献として付属診療所にて、PCR検査の受診者を受け入れた。今年度も引き続き付属診療所として成すべき診療を検討し京都府医師会、山科医師会との連携を更に強固にし、健診事業と医療、そして検査が融合された唯一の診療所として、最大限に活かせる様努力する。

4 公衆衛生事業

衛生管理の重要性と必要性を地域社会に提唱し、顧客からの様々な要望に応えられるような体制を構築する。特に2020年度導入したWeb上での結果閲覧及び報告システムを最大限活用し顧客の取込と新規獲得を目指す。また、依頼受付業務においてはAI-OCRの導入により、事務処理業務の軽減と精度の向上を目指す。

学童・学校検尿検査については更に集荷・検査体制・品質を強化し、安定且つ新たな市場拡大を図る。

先に掲げた当法人の2021年度の事業計画を遂行、達成するため、また当法人を円滑に運営するために以下の事項を施策とする。

1 法律に基づく試験、検査等

- (1) 「臨床検査技師等に関する法律」に基づく登録衛生検査所として、登録及び指定を受けている下記の検査、試験等の促進を図る。
 - ・ 生化学的検査
 - ・ 血清学的検査
 - ・ 血液学的検査
 - ・ 微生物学的検査
 - ・ 尿・糞便等一般検査
 - ・ 遺伝子関連・染色体検査
 - ・ 病理学的検査
- (2) 「計量法」に基づく環境計量証明事業所として、濃度（水質、大気、土壌）、音圧レベル、特定濃度（ダイオキシン類等）の計量証明
- (3) 「食品衛生法」に基づく食品衛生登録検査機関として食品中の各種細菌、栄養成分、添加物、器具・容器包装等の試験検査
- (4) 「水道法」に基づく水質検査登録機関として水道水の水質検査
- (5) 「水道法」に基づく簡易専用水道検査登録機関として貯水槽水道の施設維持管理検査
- (6) 「浄化槽法」に基づく浄化槽法定検査指定機関として浄化槽の水質に関する検査
- (7) 「作業環境測定法」に基づく作業環境測定登録機関として作業環境測定
- (8) 「労働安全衛生法」に基づく定期健康診断及びストレスチェック検査
- (9) 「高齢者医療確保法」に基づく特定健康診査、特定保健指導
- (10) 「学校保健安全法」に基づく健康診断、学童検尿検査
- (11) 「健康増進法」に基づく各種がん検診
- (12) 「労働者災害補償保険法」に基づく労災二次健康診断
- (13) 「公衆衛生法」に基づく伝染病及び疾病の予防に関する検査
- (14) 大量調理施設衛生管理マニュアルに基づく腸管出血性大腸菌検査

2 分析試験及び調査研究

水質、食品及びその関連物質、血液等の検体について官公庁、団体、医療機関、企業等からの要請や委託を受け、抗酸化性物質調査（カロテノイド、アスタキサンチン等）を実施する。

3 講習会、講演会、研修会の開催

- (1) ホームページの充実（リニューアル）、掲載内容の更新により検査に係る情報を整理するとともに、情報誌「Medical News」「臨床検査ニュース」及び「問合せ Q & A」の発行部数及び掲載内容の充実を図り、臨床検査全般における最新の医療について解説・理解のための情報提供を行う。
- (2) 医療機関からの要望に応じ、トピックとなる事例等について報告し研修会、講習会を開催する。
- (3) 食品事業者及び飲食業者に、厨房施設の衛生管理状況調査を行い、その結果の評価と従事者に対する研修・指導を実施し、食の安心・安全確保に係る手法の指導、啓発を図る。
- (4) 新しい知見や技術を集積するとともに、それらを伝え広める力を養い、更なる検査精度の向上を図り、質の高い臨床検査を提供していく。
- (5) 健診事業を通して地域住民に貢献する。

4 行政、各種団体及び研究会への協力

- (1) 一般社団法人の公益事業として過疎地域自立促進特別措置法で認定されている京都府北部のへき地医療を支え、協力する。
- (2) 京都府内をはじめとして国内全体において、医療等に関わる事件等が発生した時には府民の健康被害を防止するため、行政機関の協力要請に応ずる。
- (3) 関係する団体、研究会及び行政の委員会に委員として協力し、その円滑な運営を支援することにより団体、研究会及び行政の委員会の健全な発展に寄与する。

5 品質保証体制の強化充実

- (1) 関連学会、講習会に参加し臨床検査、分析試験の品質保証に係る情報を入手する。
- (2) 外部精度管理への積極的参加、内部精度管理の実施頻度強化、ブランチラボにおける検体検査の精度の確保と強化を図り、現状の検査・分析技術を再確認、改善し、より一層の精度向上を図る。
- (3) ISO15189に基づく検査所認定について、検査所としての品質と能力に関する特定要求事項の適合性評価を受け、臨床検査室に根ざした品質保証体制の適正な運用を図る。

- (4) 各種法律に基づく登録・指定要件（食品G L P等）の維持、品質向上（内部点検並びに内部監査の充実）に努め、品質保証体制の強化に努める。
- (5) 水道G L P（2018年3月20日認定取得）に従って構築した検査体制の充実を図り、品質保証体制の強化に努める。
- (6) 計量証明事業においても水道G L Pの要求事項に沿った品質保証体制の強化を図りつつ、試験所・校正機関の認定(I S O / I E C 1 7 0 2 5) 取得を目指す。
- (7) I S O 9 0 0 1品質マネジメントシステムに基づき健診事業の品質方針・品質目標の徹底、S O Pの整備、精度管理の充実を図り、品質保証体制の維持向上に努める。また、全国労働衛生団体連合会による健診機関の認定（労働衛生サービス機能評価）取得を目指す。
- (8) I S M S（情報セキュリティマネジメントシステム）認証に基づき、情報セキュリティの危機管理の徹底、情報漏洩、外部からの脅威等に対して適切な体制と運用を図る。

6 総務庶務関係

- (1) 法人法及び整備法を遵守し一般社団法人としての運営を進める。
- (2) 理事会、常勤理事会、管理者会議を定期的に開催する。
- (3) 監事による監査を随時実施する。
- (4) 会計監査を定期的実施する。

7 施設・設備の拡充

- (1) 本部ラボ、南ラボ、総合科学分析センター、福知山支所、附属診療所、豊岡支所における分析・検査機器及び設備の更新、改善を行い、検査体制の強化と更なる効率化及び分析試験・検査の精度向上を図る。
- (2) 2021年6月末完成予定の臨床事業及び環境事業の新ラボについて、効率化と経済性を重視した運用体制を構築する。

8 I C T化（Information and Communication Technology）の推進

- (1) I C Tを活用することにより、顧客サービス向上、検査精度の向上、ワークスタイル変革（働き方改革）による業務効率化を推進する。
- (2) 昨今のサイバー攻撃の実情を踏まえ、セキュリティ対策を施す。

9 組織の整備

顧客サービスの更なる向上と、分析試験の精度向上及び業務の効率化を目的とし、法人運営に相応しい組織を構築する。